

(様式1)

令和6年5月15日

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立富山いずみ高等学校
校長 越後 喜紀

令和6年度学校経営計画を別紙(様式2・3)とともに提出します。

令和6年度 学校経営計画

1 学校教育目標

校訓「心明るく 誠実であれ」「行い正しく 勤勉であれ」「志高く 聡明であれ」のもと、「豊かな知性と情操を育み、自主自律の精神に富む、未来を切り拓くたくましい人間を育成する」を教育目標としている。

教育目標を具体化するために、以下の教育方針を掲げている。

- ア 志を高く持ち、その実現に向かって努力する態度を育成する。
- イ 一人ひとりの能力と適性の開発に努め、学習意欲の増進を図る。
- ウ 実践的諸活動を通して積極性を養い、豊かな情操と勤労精神を涵養する。
- エ 人格・個性を尊重し、自律的で社会性のある人間を育成する。
- オ 健康や体力の向上に努め、安全を保持する態度を育成する。

2 学校の特徴

本校は、明治34年(1901年)に富山県高等女学校として設立された。幾度かの校名変更を重ねながら、平成14年(2002年)より総合学科と看護科(5年一貫教育)の2学科を設置した男女共学の富山いずみ高等学校となり、今年で123年目を迎える。

総合学科では、生徒の様々な学習志向や進路目標に応えるため、学校設定科目を含む多様な選択科目を開設し、特色あるカリキュラムを編成している。「人文・社会」「自然・情報」「生活デザイン」の3系列を設け、基礎学力の養成と健全な職業観・勤労観の育成を図るとともに、生徒の進路目標に応じた高い学力の育成にも取り組んでいる。

看護科では、5年一貫教育の視点に立って、高校においては看護に関する基礎的な知識・技術と看護に従事する者としての望ましい心構えや人間性を育成している。また、専攻科では、病院等での実習を通して、高校で学んだ内容を発展させ、看護現場に即した専門の知識・技術を習得することで看護師国家試験の全員合格を目指している。

特別活動では、体育大会・文化活動発表会などの学校行事や運動部・文化部の部活動等に、生徒が主体的かつ積極的に参加するよう心掛けることで情操豊かな自律的で社会性のある人間の育成に努めている。

3 学校の現状と課題

本校では、総合学科・看護科ともに、多種多様な興味・関心や能力・適性を持っている生徒一人ひとりの実態を的確に把握したきめ細かい指導の工夫と改善を行っている。また生徒は、素直で規範意識も高く、真面目で落ち着いて学習に取り組む姿勢はあるものの、一般におとなしく自ら率先して行動しようとする生徒は多くない。

刻々と変化する社会情勢の中、多様な人々の考えや情報を受け入れながら、自ら課題を見つけ、他者と協働して課題解決に向かう力が求められている。今後は、一人ひとりに応じたきめ細かい指導が、生徒の学びに向かう力を育成するとともに、自律を促し、その成長に伴走するような指導となる必要がある。

これらのことから「一人ひとりの可能性を引き出しながら、主体的に学ぶとともに、自ら考え、判断し、決定して行動できる生徒を育成する」ことを学校課題とする。